

はじめに



地球温暖化の問題は、人類の存続基盤に関わる重要かつ喫緊の課題です。

昨年の世界平均気温は史上最高を更新し、また、近年、地球温暖化による気候変動の影響が疑われる自然災害等が世界各地で頻発しています。このように深刻さを増す地球温暖化の進行について、国際社会は、一昨年12月の国際連合気候変動枠組条約第21回締約国会議(COP21)において、地球温暖化対策の新たな国際的枠組みである「パリ協定」を採択し、昨年11月にはこの協定を早くも発効させる等、各国の利害等を超えて一致団結して取り組もうとしています。我が国においても、昨年5月には、我が国の地球温暖化対策計画を閣議決定する等、国際社会と協調しながら、地球温暖化対策を強力に推し進める方針を示しています。

こうした中、本市としては、地球温暖化の問題は、もはや国レベルだけでなく、とりわけ、本市のようなエネルギーの大消費地である都市においても取り組むべき重要な課題の一つであると考えています。そして、地球温暖化対策については、パリ協定や我が国の計画を踏まえるとともに、本市の将来を見据え、市民の快適な生活と都市の利便性を確保しつつ、地球温暖化の問題に的確に対応し、さらには、人口減少社会や超高齢社会という社会経済環境の変化にも適切に対応できる、まちの基礎づくりに貢献できるような総合的かつ実効性のあるものにしたいと考えております。

こうした認識の下、この度、本市の目指すべき姿や温室効果ガス排出量の削減目標を掲げ、地球温暖化防止への取組（緩和策）や地球温暖化による気候変動への適応（適応策）に関する取組の方向性や施策等を定めた「広島市地球温暖化対策実行計画」を策定しました。

今後は、この計画の下で、市民、事業者、行政等が一体となって、地球温暖化対策に取り組み、本市が目指す「人が生き生きと暮らし、活力にあふれる強靱で持続可能な低炭素都市“ひろしま”」の実現を目指したいと考えています。

最後に、本計画の策定に当たって、終始熱心に御審議いただいた広島市環境審議会委員の皆様を始め、アンケートや市民意見募集等を通じて御協力いただいた多くの市民・事業者等の皆様に、心から感謝申し上げます。

平成29年（2017年）3月

広島市長 松井 一實